



平成 29 年 10 月 11 日

会 報 第 8 号

会津「The13」事業協議会

平成29年度 第2回 検討会・勉強会

発行：会津「The13」事業協議会

事務局 〒965-0873 福島県会津若松市追手町 5 番 36 号

TEL 0242-29-1910 FAX0242-29-5916 E-mail g-ryohei@adoken.co.jp

この号の内容

1. 開催日
2. あいさつ
3. 事業経過報告
4. 検討会・勉強会

テーマ「会津森林資源フル活用に求められる先導モデルとは」

内 容 広域連携 13 市町村で取り組む事業の特徴について

講 師 秋田県立大学
木材高度加工研究所
教授 高田 克彦 氏

5. 事務局より

1 開催日

1. 日時：平成 29 年 10 月 6 日（金）13:30～16:30
2. 場所：福島県ハイテクプラザ 会津若松技術支援センター
〒965-0006 会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原 88-1
TEL:0242-39-2100

3. あいさつ

4. 事業経過報告

5. 検討会・勉強会

テーマ「会津森林資源フル活用に求められる先導モデルとは」

内 容 広域連携 13 市町村で取り組む事業の特徴について

講 師 秋田県立大学 木材高度加工研究所 教授 高田 克彦 氏

6. 事務局より

2 あいさつ

1. 唐橋理事長の挨拶



この度の会場である福島県ハイテクプラザ 会津若松技術支援センターは、理事長の本業である醸造業（日本酒）において各種の試験を実施されており、切っても切れない縁である旨ユーモアを交えご挨拶いただいた。

次回スケジュール

日時:平成 29 年 10 月 31 日(火)

13:00～18:00

場所:道の駅 あいづ 湯川・会津坂下

内容:第 3 回 検討会・勉強会
(フィールド研修)

・テーマ「熱供給事業へ向けての
新しい林業」

・内容 森林資源の現状確認、チップ
製造(チップ品質の確認等)、
安全確保に関する研修

・講師

福島県素材生産協同組合
理事長 渡部 一也 氏
株式会社 ウェステック

工場長 武藤 竜一 氏

よろしくお願いいたします。



平成 29 年度 サポート事業の第 2 回 検討会・勉強会開催に際し、委員、準会員、アドバイザーの皆様約 50 名のご参加をいただき開催することができました事、この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

3 事業経過報告



福島県買取型復興公営住宅整備事業(平成 29 年度完成:いわき市下湯長屋地区 3F 57 戸 2DK～3LDK)へ CLT 導入が決定。CLT 約 2,200 m³作成(使用量日本一)の為に樹齢 50～60 年のスギ約 12,000 本の伐採が必要との話があり、川上～川中～川下の情報連携の重要性を再認識した。また、9 月 27 日(水)に開催された「日経地域創生フォーラム」(日経ホール)で、菅家副理事長が基調講演された内容をご紹介いただき、地域創生における本プロジェクトの意義、注目度を再確認した。

4 検討会・勉強会



検討会・勉強会

テーマ 「会津森林資源フル活用に求められる先導モデルとは」

内 容 広域連携 13 市町村で取り組む事業の特徴について

講 師 秋田県立大学 木材高度加工研究所 教授 高田 克彦 氏

本日の講師である高田教授は、平成 28 年度 第 2 回 検討委員会・勉強会において、タイトル「地域における森林林業ベンチャー起業と人材育成について」として、地球環境問題である CO2 削減から問題を提起し、森林資源活用が重要な事業であるか、また本事業が地域産業として永続的に事業するには「人材育成」が如何に重要であるかについてプロジェクト経験談を交え様々な角度から説明いただいた。

本年度は、喫緊の課題である、高齢化、低在職数となった現林業に変革をもたらすべく、川上(伐採・集材・搬出)～製材・乾燥・チップ化までの「新しい林業」体制構築へ向け「人材育成」に焦点を絞りご講演をいただいた。

森林は何をしているのか(森林の多面的機能) → 林業・木材業を取り巻く環境 → 森林産業における木材利用のネットワーク、構造 → 高度化(情報、利用分野) → エネルギーとしての期待 → 地域の状況の把握したビジネスリーダーを育てることこそが今の人材育成に必要とされている旨のお話があった。



住友林業株式会社 岡田 様の質疑応答風景
(航空機レーザーによる森林資源量調査方法についての説明)

この度の講演は 2 部構成とし、1 部 講演、2 部 質疑応答(フリーディスカッション)形式で実施し、1 部での内容を元に幅広い分野でのディスカッションにより活発な意見交換ができた。

5 事務局より

事務局より本年度の第 3 回 検討会・勉強会(フィールド研修)開催に関し下記内容の説明があった。

1. 実施予定

第 3 回 平成 29 年 10 月 31 日(火) フィールド研修

- ・現地研修テーマ 「熱供給事業へ向けての新しい林業」
- ・講師 福島県素材生産協同組合 理事長 渡部 一也 氏
株式会社 ウェステック 工場長 武藤 竜一 氏
- ・内容 森林資源の現状確認、チップ製造(チップ品質の確認等)、安全確保に関する研修

2. 参加者へのお願い。

第 3 回 検討会・勉強会はフィールド研修を実施いたします。

現場間の移動には、安全を考慮し大型バスを準備しております。(道の駅:乗・下車)

また、工場内研修を実施する為、安全具としてヘルメットの着用をお願いいたします。

ヘルメットをお持ちでない方は、事務局にてご準備いたしますので、出席確認書提出の際に指定箇所へ丸印の記載をお願いいたします。

以 上

会津「The13」事業協議会

平成 29 年度 第 2 回 検討会・勉強会（実施日：平成 29 年 10 月 6 日）

福島民報新聞

平成 29 年 10 月 12 日掲載

商工関係者らが
森林産業考える
会津「The13」
会津地域の循環型産
業の在り方を探る会津
「The13」事業協議

森林産業の構築につい
て語る高田教授



会の検討会・勉強会は
六日、会津若松市の会
津大で開かれ、商工関
係者らが新たな森林産
業の構築について考え

た。
協議会を構成する商
工会議所、商工会、企
業などの関係者が出席
した。秋田県立大木材
高度加工研究所の高田
克彦教授が講師を務め
た。林業の産業化に向
けて、地域の森林資源
について正しい情報を
持ち、技術者だけでなく
ビジネスリーダーの
育成も必要になると強
調した。